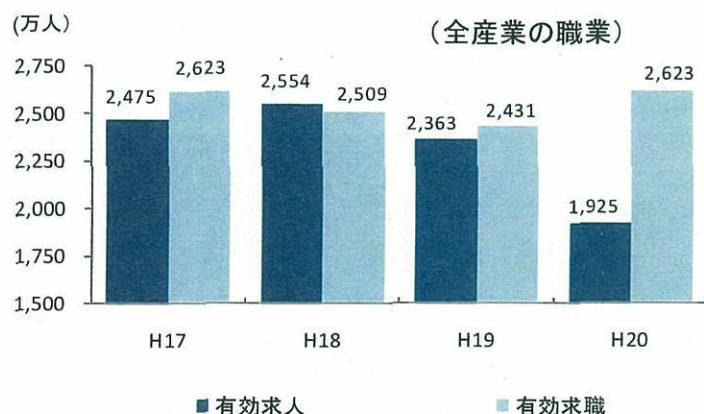
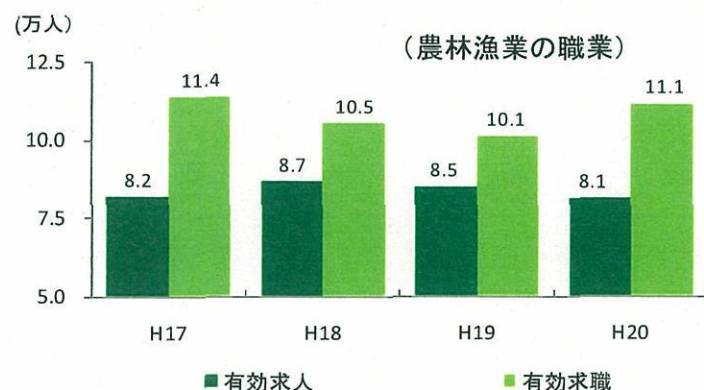


① 林業における求職・求人動向

3. 労働市場と林業就業者

- 近年、林業における有効求人数は、間伐事業量の増加等を背景に増加しており、有効求職者数も自然回帰志向等を背景に依然として高い水準にある。
- 新規就業者の就業理由には、①自然に囲まれて働きたい、②自然相手の仕事で自分で創意工夫ができる等、林業への就業動機が明確な者がいる一方で、①地元で就職すれば親の面倒を見られる、②他に適当な仕事なかったから等、とりあえずの就業先として林業を選択した者も相当程度いる。

有効求人、有効求職の推移



資料：厚生労働省「職業安定業務統計(一般職業紹介状況)」

新規就業者の就業理由

就業理由	人数	構成比
地元で就職すれば家を継ぎ親の面倒を見られる(家庭の事情から)	878	38%
自然に囲まれて働きたい(生活環境)	543	23%
自然相手の仕事で自分で創意工夫ができる林業に魅力を感じた	519	22%
他に適当な仕事なかったから	435	19%
自然環境保護に関心がある	209	9%
希望のライフスタイルや趣味活動をする時間的余裕がある	177	8%
学校教育や社会教育で林業に関心を持った	88	4%
結婚したから	52	2%
ボランティア活動で林業に関心を持った	23	1%
その他	387	17%
該当なし・未記入	36	2%

資料：林野庁業務資料

注1：平成19年度に行ったアンケート調査で、回答者数は2,313人である。

注2：3つまでの複数回答で、構成比は回答者数に対する割合である。